

言語学

注意:外国人受験者(日本の高校を卒業した者を除く)に限り、英語で解答することも可能です。

(1)「何をそんなに慌てているんだ」と「何をバカなことを言っているんですか」に共通する文法的に特異な点を指摘し、同じ特徴を示す例文をさらに一つ挙げた上で、これらの文の意味や機能に触れながら、その特徴が生じた経緯について考えを述べなさい。

(2) 以下の設問 (a) (b) に答えなさい。

(a) 非肺気流機構による子音の中から3つを選んで、それぞれの音を IPA (国際音声記号) で表記した後、それぞれの調音を簡潔に説明しなさい。

(b) 声帯が振動していないにもかかわらず、ささやき声で有声音と無声音を区別できる理由を簡潔に説明しなさい。

(3) 以下に例を挙げる言語は、基底形とその実現形式が大きく異なることで知られている。例をもとに、下の設問に答えなさい。なお y はわたり音 [j] を示す。

基底形	実現形式	意味
1. /t-n-ep-kin/	tínébgən	‘you (sg.) will eat it’
2. /r-im-ign/	riməŋən	‘he was afraid’
3. /apkeen/	abgén	‘to be jealous’
4. /eswaas/	eswás	‘small’
5. /neluiagiag/	nèluyáŋyaŋ	‘twig’
6. /kamatoa/	kàmadóa	‘kind of taro’
7. /i-ak-ai-lfa/	yàgaylifa	‘we are lazy’
8. /i-ak-kin/	yagógən	‘I eat it’
9. /t-r-rai/	tíríray	‘he will write’
10. /n-im-am-ar-olkeikei/	nìmamàřǝlgéygey	‘you (pl.) were liking it’
11. /t-n-ak-am-ar-olkeikei/	tìnağàmàřǝlgéygey	‘you (pl.) will be liking it’
12. /n-im-ar-aklha-ín/	nìmařàgǝlèín	‘you (pl.) stole it’
13. /n-im-am-ar-aklha-ín/	nìmamařàgǝlèín	‘you (pl.) were stealing it’
14. /n-ak-am-kin/	nağámgən	‘you (sg.) are eating it’
15. /n-im-kin/	nìmgən	‘you (sg.) ate it’
16. /r-am-kin nam/	řamgənam	‘he is eating fish’

17. /t-r-ep-mig/	tîrebémiŋ	'he will stay away'
18. /r-ak-mis/	ragámis	'he is sick'
19. /r-n-mir/	rinímər	'it has dried'
20. /r-am-alfa/	ramálfα	'he is lazy'
21. /nimr-n/	nímrin	'his eye'

(a) この言語の形態素の配列について、観察される傾向を記しなさい（すべての形態素を同定する必要はありません）。

(b) この言語の基底形からその実現形式への音韻規則のうち、5つ以上を例とともに挙げなさい。

(c) この言語の強勢は、どのような規則によって決まっているか、第一強勢と第二強勢に分けて論じなさい。

(4) 世界の数多くの言語で、指示対象が限定されるかどうかを定冠詞によって表す。たとえば英語では a book に対して the book, a red house に対して the red house, a son of a man に対して the son of the man といった、定冠詞を用いた形式が存在する。言語 A, B, C, D から、定冠詞のついた名詞句の例を下に挙げた。これらを見て、下の設問に答えなさい（音素表記ではなく正書法によって表記している）。

言語 A

- kita:b-u-n {本-主格-非限定} 「本」 'al-kita:b-u {定冠詞-本-主格} 「かの本」
- ba:b-u ja:mi'at-i-n {門-主格 大学-属格-非限定} 「大学の門」
- ba:b-u 'l-ja:mi'at-i {門-主格 定冠詞-大学-属格} 「かの大学の門」
- mu'allim-u-n mumta:z-u-n {教師-主格-非限定 卓越した-主格-非限定} 「卓越した教師」
- 'al-mu'allim-u 'al-mumta:z-u {定冠詞-教師-主格 定冠詞-卓越した-主格} 「かの卓越した教師」
- bayt-u řa:lib-i 'l-ja:mi'at-i {家-主格 学生-属格 定冠詞-大学-属格} 「かの大学生の家」

言語 B

- kniga {本} 「本」 kniga-ta {本-定冠詞} 「かの本」
- kniga-ta mi {本-定冠詞 私} 「私の本」
- leglo-to na ivan {寝台-定冠詞 の 人名} 「イワンの寝台」
- spyařĉa řena {眠っている 女} 「寝ている女」
- spyařĉa-ta řena {眠っている-定冠詞 女} 「かの寝ている女」
- novo-to uĉiliřĉe {新しい-定冠詞 学校} 「かの新しい学校」

言語 C

ane:r {男.主格単数} 「男」

ho ane:r {定冠詞.主格単数 男.主格単数} 「かの男」

ho ky:rou stolos {定冠詞.主格単数 人名.属格 遠征.主格単数} 「キュロスの遠征」

ane:r sophos {男.主格単数 賢い.主格単数}, または sophos ane:r {賢い.主格単数 男.主格単数} 「賢い男」

ho sophos ane:r {定冠詞.主格単数 賢い.主格単数 男.主格単数}, または ho ane:r ho sophos {定冠詞.主格単数 男.主格単数 定冠詞.主格単数 賢い.主格単数}, または ane:r ho sophos {男.主格単数 定冠詞.主格単数 賢い.主格単数} 「かの賢い男」

ho ane:r sophos {定冠詞.主格単数 男.主格単数 賢い.主格単数} または sophos ho ane:r {賢い.主格単数 定冠詞.主格単数 男.主格単数} 「かの男は賢い」

言語 D

fer {男.主格単数} 「男」

in fer {定冠詞.主格単数 男.主格単数} 「かの男」

macc fir {息子.主格単数 男.属格単数} 「男の息子」

macc ind fir {息子.主格単数 定冠詞.属格単数 男.属格単数} 「かの男の息子」

inna crann arda {定冠詞.主格複数 木.主格複数 高い.主格複数} 「かの高い木」

inis inna nnóeb {島.主格単数 定冠詞.属格複数 聖者.属格複数} 「かの聖者たちの島」

(a) 言語 A, B, C, D において、定冠詞の使用または不使用にどのような違いが見られるかを述べよ。

(b) (a) の観察をもとに、言語 A, B, C, D にどのような統語上の違いがあるかを論ぜよ。

(5) 以下の言語学用語を、例を挙げつつ簡潔に説明しなさい。

(a) ピジン (pidgin)

(b) 青年文法学派における規則性仮説 (Neogrammarians' Regularity Hypothesis)

(c) 新情報と旧情報 (new information and given information)

(d) 項構造 (argument structure)

(e) 主題と主語 (topic and subject)

【以上】